

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	有価証券報告書の訂正報告書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の2第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	平成21年9月4日
<b>【事業年度】</b>	第6期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)
<b>【会社名】</b>	株式会社リミックスポイント
<b>【英訳名】</b>	Remixpoint, inc.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 吉川 登
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都中央区日本橋箱崎町20番14号
<b>【電話番号】</b>	03-6206-2220
<b>【事務連絡者氏名】</b>	取締役最高財務責任者 栗原 一成
<b>【最寄りの連絡場所】</b>	東京都中央区日本橋箱崎町20番14号
<b>【電話番号】</b>	03-6206-2220
<b>【事務連絡者氏名】</b>	取締役最高財務責任者 栗原 一成
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月30日に提出いたしました第6期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

7 【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況を解消するための対応策

当社グループは、前連結会計年度において営業損失425,225千円、当期純損失552,266千円を計上し、当連結会計年度においても営業損失245,244千円、当期純損失475,565千円を計上し、この結果115,223千円の債務超過となりました。前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは543,872千円のマイナスであり、当連結会計年度においても154,712千円のマイナスとなっております。

当該状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、当面の資金繰りとしては、平成21年4月30日に子会社である株式会社パスタカードの全株式を100百万円で売却したことにより、資金繰りの懸念は払しょくされております。また、債務超過の解消と金融機関への返済金の確保を図るため、平成21年6月26日開催の取締役会において、第三者割当増資300百万円及び新株予約権31百万円の発行決議を行っており、債務超過の解消及び金融機関への返済金の一部に充当することができ、かつ継続的な経営支援についての協力を得ていく所存であります。

また、事業面におきましては、グループ全体の再編をおこない「各社の経営資源を集約できる組織体系の整備」「効率的な開発体制の構築」「販売およびサービス体制の強化」を基本方針とし、更なる営業面の強化、開発面での効率化を行ってまいります。第2四半期以降、子会社不採算事業の売却や雇用調整を含む抜本的な収益確保策の実施を進めており、さらに事業所の縮小・移転等をすでに決定しており、今後これまで以上に必要最小限のコストでの事業運営に向けた連結経営体制の整備を進めて参ります。